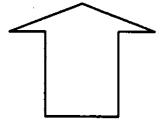
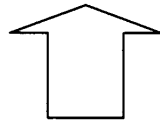


<我が国経済の基調判断>

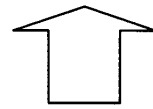
景気は、一部に持ち直しの動きがみられるものの、環境は厳しさを増している。



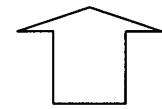
雇用情勢は、一部に改善への動きがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。



個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。



企業収益は横ばいとなっており、設備投資は下げ止まりの兆しがみられる。



輸出は増加している。生産は持ち直しの動きが緩やかになっている。

先行きについては、景気は持ち直しに向かうことが期待されるが、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の下落など、環境は厳しさを増しており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まりつつある。